科目名			担当教員	
精神障害者の生活支援システム			大橋　雅啓	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CU3151	1	1	RorSR (講義)	2年以上
履修登録条件		「精神保健福祉のサービス」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。		
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

本科目では精神障害者の支援に関する制度と福祉サービスの実際とその背景について学びます。精神保健福祉士の相談援助活動が保健・医療・福祉、就労等の社会サービスとどのように関連しているか、またそれぞれの組織や機関などで活躍する専門職との連携について理解します。精神障害者が地域で暮らすための場の確保や、近年大きく変化している障害者の就労・雇用支援の体制などの現状についても学びます。

■到達目標

１）精神保健福祉士として保健福祉サービスの活用や関係機関との連携について説明できる。
２）精神障害者の地域生活支援の意義と特徴について説明できる。
３）精神障害者の就労支援に関する制度・諸施策について説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「精神保健福祉のサービス」と共通）
精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『精神保健福祉士養成セミナー6 精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム〈第６版〉』へるす出版、2017 年　第４・５章（改訂新版でも可）
（最近の教科書変更時期）2017 年４月
※「精神保健福祉のサービス」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。
（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。旧版を所持している場合も受講に支障がないよう資料を配付します。

【参考図書】
教科書記載の参考図書を読まれることをおすすめします。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

精神保健福祉士の基本的な視点である、障害の概念や基本的人権について理解するとともに、精神障害者を取り巻く社会状況や諸制度について外観し、“精神障害者と地域生活”についての具体的なイメージを各自がしっかりと持つことを目標とします。日本各地で展開されているグットプラクティス（大宮市のやどかりの里、浦河べてるの家等）を事例に学びます。

本講義を通じて、精神保健福祉士として精神障害者の地域生活支援を現実の職業課題として認識する“専門職としての意識”の醸成を図ります。そのため受講生は受け身ではなく、主体的に講義に参加することを期待しています。

■講義内容

▶オンデマンドのみ

回数	テーマ	内容
1	精神障害者の概念	精神障害者の概念の整理と理解
2	精神障害者の生活の実際	各種統計や調査データから見える生活実態
3	精神障害者の生活と人権	生活概念の整理と基本的人権と人権擁護
4	居住支援について	居住支援制度と他国の取り組み状況
5	就労支援について	雇用・就労支援の近年の動向
6	行政における相談援助体制	行政における相談援助システムの概要と実際
7	地域生活支援システムの実際	自立と社会参加の視点に基づく地域生活支援
8	精神障害者の生活支援のまとめ	生活支援システムにおける精神保健福祉士の役割
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義は、配付資料とともに、身近な新聞記事や DVD 等の視聴覚教材を用いて、より具体的なイメージを持てるよう配慮しながら展開します。途中でグループワークを実施し、精神障害者の地域生活支援に対する課題や自身の考え方を整理するとともに、他受講生との闊達な意見交換を行います。

■スクーリング　評価基準

評価は、スクーリング最後の試験（配付資料、自筆ノート持込可）だけでなく、グループワークへの参加態度も勘案し、総合的に評価します。将来精神保健福祉士を目指す立場から、主体的な授業参加を期待します。

スクーリング試験 70% ＋ 授業への参加態度 30%

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

事前にテキストを通読していることをお勧めします。

精神障害者の人権と、その史的変遷について、事前に全体像を把握しておくことが望ましい。

レポート学習

■在宅学習８のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神障害者の概念 (第４章)	人権・障害の普遍性、精神障害の特性と「障害」の概念、精神障害者の生活と人権 キーワード：合理的配慮、ICF、ICIDH 社会的障壁	人としての普遍性、精神障害の特性を踏まえ、「合理的配慮」とは何かを考える。
2	精神障害者の生活の実際① (第５章)	障害者の実態把握の難しさ、自治体等による障害者（保健）福祉に関するアンケート結果から、家族の調査からみえてくること キーワード：支援者、制度	精神障害者の現状や家族支援を理解する。 生活支援の理念を考える。
3	精神障害者の生活の実際② (第５章)	地域における精神障害者の人権 事例参照：やどかりの里（大宮市） キーワード：負の側面、偏見・差別、環境整備	精神障害者の人権を考える。
4	精神障害者の居住支援 (第５章)	居住における近年の動向と課題 キーワード：ノーマライゼーション、障害者総合支援法	地域で生活する住居や生活の場の確保を説明できるようにする。
5	精神障害者と雇用・就労① (第５章)	就労支援にかかわる機関と連携 キーワード：障害者の雇用の促進等に関する法律	障害者雇用の制度と労働保険について説明できるようにする。
6	精神障害者と雇用・就労② (第５章)	就労支援の実際 キーワード：障害者総合支援法、就労支援	就労支援の近年の動向を説明できるようになる。
7	精神障害者の生活支援システム① (第５章)	自立と社会参加 事例参照：べてるの家（浦河町） キーワード：精神科ソーシャルワーカー	生活支援の基本的な考え方を踏まえ、その意義と特徴について説明できるようにする。
8	精神障害者の生活支援システム② (第５章)	制度としての地域生活支援システム障害者ケアマネジメント キーワード：地域生活支援事業	生活支援の制度を把握し、精神保健福祉士がそれをどのように活用していくかを考える。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

本科目全体の内容についての理解を問います。

問題の題意に適しているかどうかも問います。

解答字数は、800 字以上を基準といたします。